

グリーンスローモビリティについて

令和8年1月
杉並区



- 1. 杉並区地域公共交通計画での位置づけ**
- 2. 利用実績**
- 3. アンケート結果**
- 4. 令和7年度の取組と令和8年度の実施案**

- 1. 杉並区地域公共交通計画での位置づけ**
2. 利用実績
3. アンケート結果
4. 令和7年度の取組と令和8年度の実施案

目標3 気軽に自由な外出と回遊が確保されている

施策3-1 新たな公共交通サービスによる移動の選択肢の拡充

取組2 地域の回遊性の向上に資する グリーンスローモビリティの運行

	令和5	令和6	令和7	令和8	中期 令和9（2027）年度 ～令和12（2030）年度	長期 令和13（2031）年度～
計画	検討				実施	
実績		★				

本格運行開始

杉並区地域公共交通計画での位置づけ

目標3 気軽に自由な外出と回遊が確保されている

他の地域でもグリスロの取組を広げられるか検討

施策3-1 新たな公共交通サービスによる移動の選択肢の拡充

取組2 地域の回遊性の向上に資する グリーンスローモビリティの運行

- ・バス会社との協力
- ・グリーンスローモビリティの特性を理解してもらい、
ゆっくりの価値を共有する

	令和5	令和6	令和7	令和8	中期 令和9（2027）年度 ～令和12（2030）年度	長期 令和13（2031）年度～
計画	検討		実施			
実績		★				

本格運行開始

グリーンスローモビリティが**地域の交通**としてどうなっていくべきかについて、**将来的な地域住民との連携**を視野に入れ、地域住民や利用者の声を拾いながら、現在の運行事業者であるキャピタルモータース株式会社を含めた**地元の交通事業者とともに検討を進める。**

1. 杉並区地域公共交通計画での位置づけ
- 2. 利用実績**
3. アンケート結果
4. 令和7年度の取組と令和8年度の実施案

利用実績

利用実績（本格運行開始後～令和8年1月1日現在）

令和6年度	11月※	12月	1月	2月	3月	計
乗車人数	436人	2651人	2201人	1965人	2290人	9543人
平均乗車人数	73人/日	86人/日	71人/日	70人/日	74人/日	75人/日

※ 11月25日から11月30日までの6日間にかけての実績

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
乗車人数	2481人	2193人	2213人	2132人	2461人	2587人	2781人	3803人	2535人	23186人
平均乗車人数	83人/日	71人/日	74人/日	69人/日	79人/日	86人/日	90人/日	127人/日	82人/日	84人/日

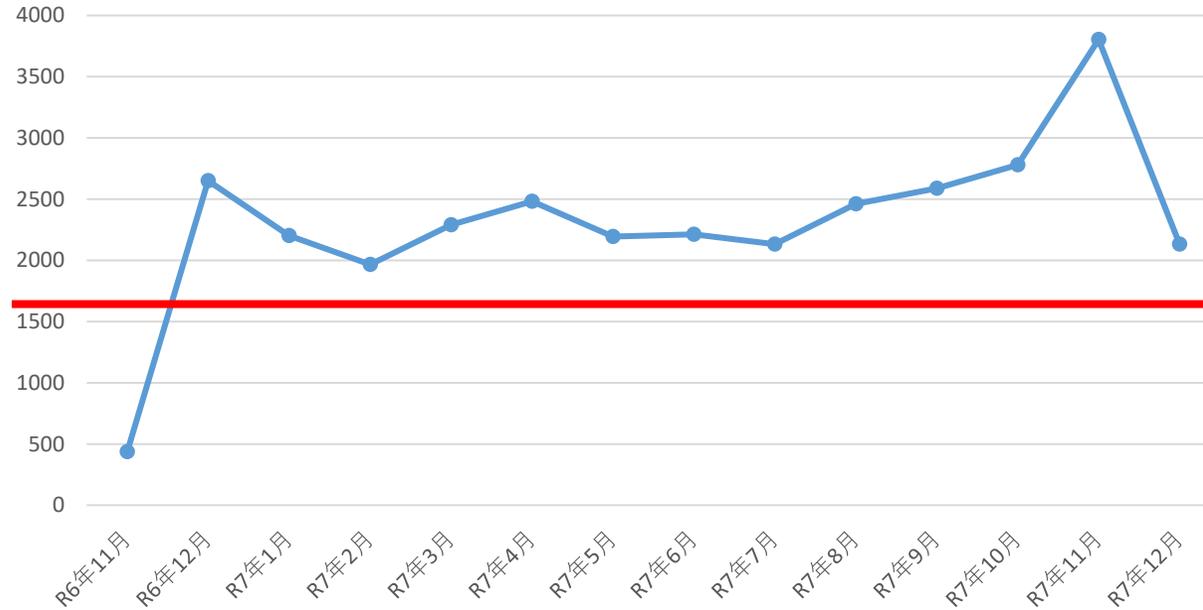
総計 32,729人 **1か月(30日)の平均乗車人数：2,430人**
(1日の平均乗車人数：81人)

現在の運行ダイヤでは、最大で1日に144人、1か月(30日)では4,320人を輸送できる。

(7人乗り12便・5人乗り12便で、途中での乗り降りや未就学児の膝上乘車等は考慮しなかった場合。)

利用実績

乗車人数（月ごと）



運行計画策定当初想定していた利用者
1ヶ月（30日想定）1,678人

- ・令和7年中、以下の月は、一時的に1台運行をしていた。（輸送力の低下）

5月・・・車検（運行計画では年4日程度を想定）のため、5月12日から16日及び19日から23日の計10日間を1台で運行。

7月・・・バス型車両の故障により7月9日から12日午前中の3.5日間を1台で運行。

12月・・・バス型車両の故障により12月17日から19日の3日間を1台で運行。

→車両故障については、製造メーカーであるタジマモーターコーポレーションに原因を確認し、迅速に修理を行った。
今後、安全運行に一層努めていく。

- ・大田黒公園紅葉ライトアップ（後述）及び荻窪三庭園の臨時開園（通常水曜日定休）があった令和7年11月は、特に乗車人数が多かった。乗車人数の傾向は、荻窪三庭園の来園者数とある程度結びつきがあると推測される。

1. 杉並区地域公共交通計画での位置づけ
2. 利用実績
3. アンケート結果
4. 令和7年度の取組と令和8年度の実施案

アンケート結果

利用者に対し、対面及びWebで実施。

回答数236件（1月1日時点）→ 8月1日時点の数（60件）から176件増加

●居住地（郵便番号）

区内：153件（荻窪76件）、その他83件（不明3件）。

前回と比較して、**区外在住者の割合が約3割から約4割に上昇。**

●乗車目的（複数選択可）

「**観光・レジャー**」が116件で最も多く、次いで「**乗ることが目的**」の67件。「買い物」「通院」は合計55件。

前は「観光・レジャー」と「買い物」や「通院」といった日常生活での利用がほぼ同数だった。

●乗車回数

初めて：133件、2回以上：103件。

2回以上乗車した人の内、区内在住者が91件（約9割）。

●外出機会の創出

2回以上乗車したことがある人の内、**約7割が、グリーンスローモビリティで外出機会がとても増えた・増えたと回答。**これは前回と同じ割合である。

アンケート結果（消費行動）

Q.停留所周辺や隣接する商店で買い物・飲食等をされましたか。

1000円～3000円程度・・・約7割

5000円以上・・・約1割

Q.荻窪周辺の商店街の割引やおまけが貰えるクーポンがあったら使いますか。

約8割が「**使う**」と回答。

「使わない」と回答した人で最も多かったのが「商店街に行かない」という理由だった。

（その他の意見：「面倒そう・忘れそう」等）

また「グリス口の停留所周辺や隣接する商店で買い物・飲食等をしなかった」と回答した人の内、**約6割**が「**使う**」と回答。

アンケート結果（感想・意見）

●乗車した感想（複数選択可）

感想	件数
移動が楽になった	184件
景色や爽快感を楽しめた	139件
運転手や乗客同士のコミュニケーションが楽しかった	26件

課題

●自由意見

- ・運行ダイヤに関すること
- ・停留所に関すること
- ・運行形態に関すること
- ・車内の温度（暑い、寒い）に関すること
- ・運行情報の提供に関すること
- ・料金に関すること
- ・乗務員に関すること
- ・車両に関すること
- ・路線や停留所増加に関する要望
- ・事業継続に関する要望
- ・その他（名称に関すること、交通安全に関すること、地域の魅力に気付いた 等）

1. 杉並区地域公共交通計画での位置づけ
2. 利用実績
3. アンケート結果
4. **令和7年度の取組と令和8年度の実施案**

暑さ対策

令和7年度は、7月中旬からバス型車両にポータブルエアコンを導入し、効果を検証。多少改善したが、解決までは至らず。また、充電残量も課題に。

令和8年度以降も引き続き、他自治体での事例も参考にしながら対策を続ける。改善に至らない場合は、気温や車内温度によって運行停止の基準を設けることも検討する。

【参考】他自治体における夏季のグリーンスローモビリティ運行状況（葛飾区）

地域主体交通（地域組織が運行主体となって車両を運行）
使用車両 TAJIMA NAO-6J（杉並区と同型）

令和7年度は、地域からの要望を受けて夏季に断熱施工を行い、その間は普通乗用車で運行。断熱加工の効果測定は来年度以降行う。

イベントの実施

本格運行開始 1周年を記念したイベント（令和7年11月25日～）

（1）周遊マップの配布

荻窪駅西口停留所からグリーンスローモビリティに乗車した人に対し、運行ルート上にある荻窪すずらん通り商盛会の協力店舗で使用できる、クーポン付きの周遊マップを数量限定で配布した。

周遊マップ



（2）記念品のプレゼント

本格運行開始 1周年の当日に、グリーンスローモビリティに乗車し、近隣エリア内で買い物をした方や、荻窪三庭園を訪れた人に対し、記念品をプレゼントした。

記念品の引き換えには、杉並区産MaaS「ちかくも」のチケット機能を使った。

イベント当日の様子



荻窪三庭園との連携①

「大田黒公園紅葉ライトアップ2025」

・イベントの概要

開催場所：大田黒公園

期間：11月28日（金）～12月7日（日）の10日間
月～木 17時～20時 / 金～日 17時～21時

・グリーンスローモビリティは通常ダイヤで運行（臨時便等はない）

大田黒公園での周知活動の様子



イベント前後の期間における大田黒公園停留所の乗降者数（参考値）

①期間前 11月18日～11月27日（11月19日（水）・26日（水）は臨時開園）

乗車：244人 降車：314人

②期間中 11月28日～12月7日（12月3日（水）は臨時開園）

乗車：245人 降車：415人

③期間後 12月8日～12月17日（12月10日（水）は臨時開園）（12月17日は1台運行）

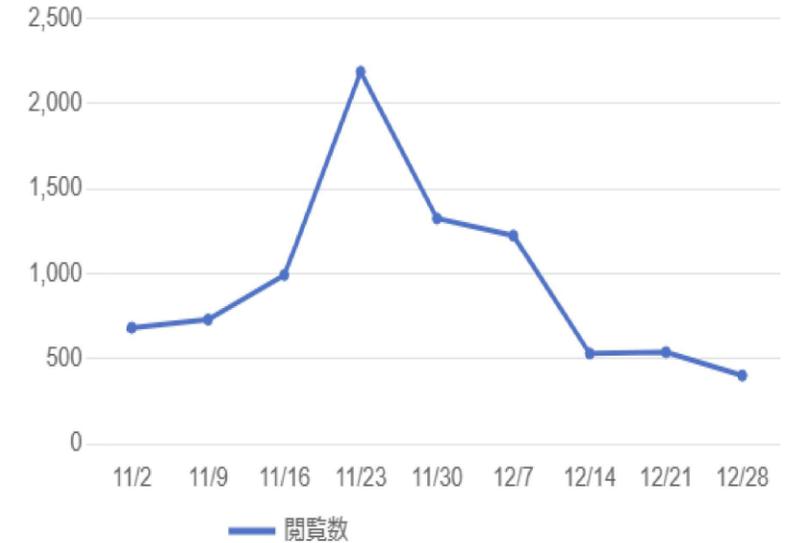
乗車：75人 降車：96人

荻窪三庭園との連携②

大田黒公園紅葉ライトアップ期間は、乗車人数だけでなく、直前～期間中における区ホームページ「グリーンスローモビリティ運行情報」のアクセス数も伸びている。

週ごとの区ホームページアクセス数（令和7年11月～12月）

	大田黒公園紅葉 ライトアップ期間の前後								
	11月			12月					
	27-2	3-9	10-16	17-23	24-30	1-7	8-14	15-21	22-28
閲覧数(回)	682	729	991	2,187	1,326	1,225	530	538	401



杉並区産MaaS「ちかくも」においても、11月中は、グリーンスローモビリティのページの閲覧数が増加した。

- ・令和8年度に向けては、紅葉ライトアップに絡めたイベントや、荻窪三庭園に関する車内広告の掲出について検討する。
- ・アンケートや地元住民の声では、紅葉ライトアップ期間の増便や、荻窪三庭園の周遊を目的としたお得な乗車券の販売等の提案があった。
- ・町会等との意見交換の場に参加することで、課題やサービス改善策を抽出し、荻窪三庭園の事業を所管するみどり公園課と協力しながら、今後の連携の可能性を探る。

近隣商店街との連携

・本格運行開始 1周年を記念したイベントの効果を検証

消費行動に関するアンケートの結果から、クーポンが、これまで消費行動をとらなかった利用者へのアプローチや、消費額を増額させる契機となることが期待される。

アンケートの結果や、協力店舗に対する聞き取り等からイベントの効果を検証し、今後の商店街との連携に関する取組について検討する。

・MaaSを使った連携の促進

杉並区産MaaS「ちかくも」では、現在、グリーンスローモビリティについて、車両混雑情報や発着時刻等を確認することができる。

「おでかけマップ」や「チケット」等の機能も活用し、産業振興センターと連携しながら、グリーンスローモビリティと近隣商店街の両者に人を呼び込む仕組みについて検討する。

杉並区産MaaS「ちかくも」
操作画面

